

令和3年度施設・事業所関係事業報告書

《 はじめに 》

今年度も昨年度に引き続き、新型コロナウイルス蔓延により、ご入居者、ご利用者、職員への感染防止対策に多くの注意を払わなければならないこととなった。

新たな変異株の感染拡大により、緊急事態宣言・まん延防止等重点措置が発出される中、法人一丸となって対処し、各職員のプライベートの時間にまで及ぶ感染防止の意識の高さもあり、年度末現在、事業所内での感染を食い止めている。

全国的に感染拡大が収まらない中、事業継続の使命をおびた各事業所の職員の頑張りに敬意を表する。

休止をしていた居宅介護支援事業所の事業再開は叶ったものの、新型コロナウイルスの影響等により、通所介護事業所の新規事業再開までには至らなかった。

介護職員の採用については依然として厳しい状況にあり、人材紹介会社を通じての採用や人材派遣を利用し、人員基準、サービスの提供に影響が出ないようにしている。

令和3年1月に迎え入れた技能実習生5名（インドネシア3名、ベトナム2名）は、日本語、介護技術ともに順調な習得状況で、今後は一人前のケアワーカーとして日本人職員にもいい影響を及ぼすものと考えている。

施設運営においては、コロナ過の中、施設内への立ち入りを制限せざる得ない状況となり、ご家族の面会、ボランティアの活動を遠慮していただく事態が続き、きぬ川苑としての行事をすべて取りやめることとなった。

そのような状況の中であって、ユニット単位での行事を企画し、実行することでご入居者のストレスを少しでも解消しようと、ご利用者に寄り添った介護を実践出来ていると評価する。

令和4年になり、いまだ新型コロナウイルス感染の収束が見通せない中、感染経路の遮断を第一に、職員一同細心の注意を払って感染防止に取り組み、利用者に寄り添った介護の実践に努めなければならない。

令和3年度の重要目標として掲げた事業のうち、主な事業の成果については次のとおりであります。

「個別ケア推進事業」については、

- ① 24時間シート（利用者状況データー）の効率的な活用
- ② 入居者の実態に即したユニット単位の弾力的な勤務シフトの継続
- ③ 職種間の連携を軸にした個別ケア検討会の開催などを通し、入居者の意思を尊重した個別ケアの推進

「職員研修事業」については、コロナ感染症対策のため、集合しての研修、外部開催

の研修の中止などにより例年通りの研修が開催できず、このような状況下でも研修は必要なことから、集まることを回避して出来るように、「オンライン研修」の実施や資料の閲覧と研修報告の提出、回覧等を行い実施した。

今後とも、自然環境や快適な居住環境の維持に配慮しつつ、利用者が安全で安心して毎日を過ごすことができるよう、より一層のケア体制の充実を図っていくこととする。

1 特別養護老人ホーム「きぬ川苑」（介護老人福祉施設）

当施設の令和3年度入居・退居状況は、新規入居者は13名、退居者は15名で、退居の事由は死亡退居15名となっています。

年度末における入居者の平均要介護度は4.20（前年度4.30）で、全国平均3.98に対し0.22ポイント上回っています。

また、入居者の平均年齢は87.69歳で前年度より0.65歳低くなり、年間の入院者数は19名で、延べ入院日数は834日となっています。これは前年度に比較して入院者数で9名の増、延べ入院日数では624日の増となっています。

★入居状況

《1》年齢別入居者数（令和4年3月末現在）

単位：人（）内前年数

年代	60歳代	70歳代	80歳代	90歳代	100歳代	合 計
男性	1 (1)	3 (2)	3 (4)	1 (3)	0 (0)	8 (10)
女性	0 (1)	3 (3)	14 (17)	20 (18)	2 (1)	39 (38)
合計	1 (2)	6 (5)	17 (21)	21 (21)	2 (1)	47 (50)

《2》介護度状況（令和4年3月末現在）

単位：人（）内前年数

介護度	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合 計
男性	0 (0)	0 (0)	2 (1)	3 (4)	3 (5)	8 (10)
女性	0 (0)	0 (0)	8 (7)	13 (16)	18 (17)	39 (40)
合計	0 (0)	0 (0)	10 (8)	16 (20)	21 (22)	47 (50)

★健康管理（令和3年4月1日～令和4年3月31日）

①入院人数 19名（延べ834日）

前年度 10名（延べ210日）

②退居者人数 15名（死亡退居6名、長期入院退居7名、居宅1名、サ高住1名）

前年度 15名（死亡退居15名、長期入院退居0名、老健入所0名）

③受診状況

ア) 定期的な受診もしくは処方を受けている方

47名(嘱託医師の所属医療機関や協力医療機関での受診)

前年度 43名

イ) 救急車による搬送 3件 前年度(3件【ショート利用者含む】)

④常時、医療的なケアを必要とする方の状況

・胃ろう 1名(1)・酸素療法 0名(0)・バルーン留置 2名(3)・膀胱洗浄 2名(3)

★介護サービス提供の状況(令和4年3月末現在)

(1)食事状況

① 食事形態(入居者個々人の経口摂取しやすい形状で提供)単位:人 ()内前年度数

主食 人数	常食	軟飯	全 粥	パン朝のみ	ソフト 食	ミキサー他	計
	4 (3)	5 (3)	26 (30)	0 (3)	8 (8)	1 (1)	46 (48)
副食 人数	常 菜	一口大	キザミ	みじん	ソフト 食	ミキサー	計
	5 (5)	4 (5)	17 (19)	10 (10)	9 (8)	1 (1)	46 (48)

※ 別掲 ・胃ろう(流動食) 1名(0名)

栄養等補助として、日常摂取に必要なエネルギーたんぱく質等を補う工夫として、下記の物を提供しています。

濃厚流動食 7名(5)

咀嚼嚥下困難者対応食品 18名(15)

褥瘡改善及び予防補助食品 7名(4)

② 食事摂取状況

全介助摂取 12名(14)

一部介助摂取 7名(7)

自力摂取 27名(27)(見守りが必要な者を含む)

(2)排泄状況

排泄に関しては、オムツ使用者を含め何らかの介助を必要とする方がほとんどであるため、各ユニットから選任した委員による排泄委員会を中心に、入居者の爽やかな生活向上への取り組みを進めています。オムツの不快感を無くし、尿路感染等感染症の予防にも繋がっていきますので、今後においてもプライバシーに配慮し、入居者が快く過ごせるよう努めていくこととします。

(3) 入浴状況

入浴日は、毎日ユニットごとに区分して入浴しています。なお、入浴は週2回を原則としています。

また、入浴日を調整し外出やレクリエーションなどを通して、楽しく過ごせるよう工夫してきました。

浴槽の使用状況

●個人浴槽 27名 (18)

●機械浴槽 20名 (30)

利用者の状態に合わせた入浴方法をとっていますが、入居者のプライバシーを考慮し、個人浴槽での個別ケア対応となっています。

2 特別養護老人ホーム「きぬ川苑」(地域密着型介護老人福祉施設入居者生活介護施設)

当施設の令和3年度入居・退居状況は、新規入居者10名、退居者8名で、退居の事由は死亡退去6名、長期入院等による退居者2名で、年度末における入居者の平均要介護度は3.5で前年度より0.2ポイント低く、また、平均年齢は87.77歳で前年度より1.28歳低くなっています。

★入居状況

《1》年齢別入居者数(令和4年3月末現在) 単位：人 ()内前年度数

年代	60歳代	70歳代	80歳代	90歳代	100歳代	合 計
男性	0 (1)	2 (2)	2 (3)	1 (3)	0 (0)	5 (7)
女性	0 (0)	0 (0)	9 (5)	4 (6)	1 (2)	14 (11)
合計	0 (1)	2 (2)	11 (8)	5 (9)	1 (2)	19 (18)

《2》介護度状況(令和4年3月末現在) 単位：人 ()内前年度数

介護度	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合 計
男性	0 (0)	1 (1)	2 (2)	2 (3)	0 (0)	7 (6)
女性	0 (0)	0 (0)	5 (5)	9 (5)	0 (2)	11 (12)
合計	0 (0)	1 (1)	7 (7)	11 (8)	0 (2)	19 (18)

★健康管理(令和3年4月1日～令和4年3月31日)

①入院人数 6名(延べ114日)

前年度 5名(延べ104日)

③退居者人数 8名(死亡退居6名、長期入院退居2名、その他0名)

前年度 5名(死亡退居3名、長期入院退居2名、その他0名)

③受診状況

ア) 定期的な受診もしくは処方を受けている方 19名 (20)
 イ) 救急車による搬送 2件 (1)

④常時、医療的なケアを必要とする方 0名 (1)

バルーン留置 胃ろう処置

★介護サービス提供の状況(令和4年3月末現在)

(1) 食事状況

食事に関しては、家庭的な雰囲気を醸し出すため、ユニット内のキッチンで毎食炊飯し、みそ汁を作っています。

①食事形態(入居者個々人の経口摂取しやすい形状で提供) 単位：人 ()内

主食 人数	常食	軟飯	全粥	パン 朝のみ	ソフト食	ミキサー他	計
	1 (0)	10 (8)	2 (9)	2 (1)	2 (0)	2 (0)	19 (18)
副食 人数	常菜	一口大	キザミ	みじん	ソフト食	ミキサー	計
	4 (2)	2 (0)	7 (11)	1 (5)	3 (0)	2 (0)	19 (18)

栄養等補助として、日常摂取に必要なエネルギーたんぱく質等を補う工夫として、下記の物を提供しています。

濃厚流動食 2名 (0)

咀嚼嚥下困難者対応食品 5名 (8)

褥瘡改善及び予防補助食品 8名 (4)

・食事摂取状況

全介助摂取 4名 (4)

一部介助摂取 3名 (3)

自力摂取 12名 (11) (見守りが必要な者を含む)

(2) 排泄状況

排泄に関しては、個々人の排泄パターンを把握し、そのデータを基にその人に合わせた排泄用品を選定し、快適な生活の維持に努めています。

(3) 入浴状況

入浴は、週2回を原則とし、浴槽は、個人浴槽と機械浴槽の形態を有し、入居者の状態に合わせた入浴方法をとっており、従前使用していた入浴用品の持ち込みも自

由としています。

浴槽の使用状況

●個人浴層	15名(14)
●機械浴槽	4名(4)

入居施設で共通して言えることは、多様化する入居者の態様や重度化に伴い、介護に要する時間や手間も増え、職員の介護負担も過重となってきています。

介護サービスの提供については、個別の栄養ケア・マネジメント及び機能訓練を実施し、QOL（生活の質）の向上に努めました。また、インフルエンザ等感染症の予防対策としては、毎月開催している感染症対策委員会、褥瘡予防対策委員会及び衛生委員会の合同委員会において情報を共有し、入居者及び職員の感染予防に努めてきました。

身体拘束適正化に関する指針を見直し、身体拘束廃止に向けた取り組みをすすめ、高齢者人権擁護に取り組みました。

3 ショートステイ「きぬ川苑」(短期入所生活介護)

自宅で介護している家族が急用等で出かけたり、居ても一時的に介護できない場合など一定期間を預かり、日常生活の世話を行っているご家族の介護負担軽減を図ることとしています。

コロナ過の中、特養きぬ川苑と併設事業所のため感染対策を重視し運営をし、具体的には、極力施設内と外との出入りを少なくするためロング利用のご利用者を受け入れることを優先いたしました。

特養と介護の場を共有する併設事業所として、利用者を増やして行くことと、感染対策を両立させることが課題となる。

★令和3年度利用状況

(単位：人)

月別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
介護1							
介護2	1	1			3	3	4
介護3					1		4
介護4	1	2	1	2			
介護5	1						
延利用者数	3	3	1	2	4	3	8

月別	1 1 月	1 2 月	1 月	2 月	3 月	合 計
介護 1		1	6	6	9	22
介護 2	3	3		3	3	24
介護 3	7	6	4	4	5	31
介護 4						6
介護 5		4	4	2		11
延利用者数	10	14	14	15	17	94

◆「きぬ川苑」年間行事

実施月	行 事 名	行 事 内 容
4 月	お花見	公園にお花見
5 月	パンケーキ作り	ユニット内でパンケーキ作り
6 月	家庭の定番料理を楽しもう	ユニット内でハンバーグ作りやドーナツ作り
7 月	流しそうめん スイカ割り	短冊に思い思いの願いを託した
8 月	夏祭り おはぎ作り	苑内で、盆踊りなど夏祭りを行う
9 月	敬老会 特別メニュー	百寿・米寿おめでとうございます
10 月	新米おにぎり すいとん	新米を味わうなどの調理レクで楽しむ
11 月	けんちんうどん きのこと飯	けんちんうどんときのこと飯を食べ、季節を楽しむ
12 月	きりたんぽ鍋	ユニット内できりたんぽ鍋を作り楽しむ
1 月	どんど焼き	苑駐車場でどんど焼きを行い、団子を焼いて楽しむ
2 月	節分 にぎり寿司	節分の豆まき にぎり寿司を味わう
3 月	ひな祭り・フォトフレーム作り	季節の行事とフォトフレーム作りを行う
年 間	誕生会	毎月の行事として、簡単な食事を作ったりゲームをして、誕生者を祝う。
随 時	食事会・買い物・ドライブ	コロナ感染予防のため中止

*コロナ感染対策のため、外出や苑全体で集まっての行事は行うことが出来なかったが、各ユニット創意工夫して、レクリエーションを行いご入居のストレス発散に努める。

4 デイサービスセンター「きぬ川愛泉」（通所介護事業）

令和2年9月30日をもって事業廃止。

5 ケアプランセンター「愛泉」（居宅介護支援事業）

事業を休止していたケアプランセンター「愛泉」は、ケアマネジャー2名体制で、基本的には24時間対応の業務運営となっています。

事業推進に当たっては、介護サービス利用者本人の希望や心身の状態、更に家族の意向も十分把握した上でケアプラン（居宅サービス計画）を作成し、介護サービス提供事業者との調整により、適切なサービスが利用できるよう努めるとともに、要介護者の自立支援の観点からサービス利用の相談、アドバイス等、在宅介護の拠点としての役割も積極的に取り組んできました。

また、包括支援センターから委託を受けた予防給付についても、利用者が最適な介護サービスを受けられるよう努めてきました。

令和4年3月末現在のケアプラン作成者数は、要支援者15名、要介護者数は97名の計112名となっています。

★介護度別ケアプラン作成者数（令和4年3月末現在）（単位：人）

介護度	要支援1	要支援2	介護1	介護2	介護3	介護4	介護5	計
人数	6	9	45	32	15	2	8	112

＊前年度3月末時点ケアプラン作成者数 106名

★月別ケアプラン利用者数（単位：人）

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
介護							2	12	15	16	20	22	87
予防							2	3	3	3	6	8	25
計							4	15	18	19	26	30	112

6 ヘルパーセンター「愛泉」（訪問介護事業）

ヘルパーセンター「愛泉」は、高齢者が健全で安らかな在宅生活を営むことができるよ

う援助を行ってきました。特に、その人の有する能力に応じ自立した日常生活を営むことができるような援助を基本とし、身体介護(入浴、排泄、食事介助)及び生活援助(調理、買物、洗濯、清掃)の生活全般にわたる援助を行ってきました。

職員は、サービス提供責任者を含め、常勤職員 2 名、非常勤職員 2 名で活動しています。サービス提供者は生活援助と身体介護を合わせ月平均 35.6 名となっています。

また、1 ヶ月当たりの利用回数を見ると、月平均では 5.6 回、平均利用時間は 4.23 時間となっています。

なお、15 名の新規利用者がありましたが、施設入所、入院、死亡等により 14 名の方がサービスを中止しました。

★令和 3 年度利用状況

(単位：人)

月別	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月
実人数	34	35	34	35	36	38	39
延人数	196	193	200	199	195	207	221

月別	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合 計
実人数	38	36	36	37	37	439
延人数	224	205	191	193	206	2,430

＊前年度 年間利用者数 428 名

事務関係行事（令和３年４月～令和４年３月）

実施月	研修会等の名称	出席者等
４ 月	新規採用職員研修会	新規採用者
５ 月	本館２階電気錠交換工事	専門工事業者
６ 月	新型コロナワクチン予防接種１・２回目	職員 入居者
７ 月	J L P T 日本語能力検定試験	実習生
８ 月	健康診断	職員
９ 月	入居者健康診断 敬老会	入居者
１０ 月	実務者研修（介護過程） あいせん No. 36 発行	研修受講者 広報委員会
１１ 月	日光市実地指導監査	施設長 他関係者
１２ 月	実務者研修（医療的ケア）	研修受講者
１ 月	B C P 対策セミナー（Z O O M）	施設長
２ 月	健康診断 新型コロナワクチン予防接種３回目	職員 入居者
３ 月	あいせん No. 37 発行	広報委員会
令和３年度	新型コロナウイルス感染防止のため、ほぼすべての行事中止 外部での研修会も中止された。	